



慶應義塾大学ビジネススクール

(株)ライブドア

---2005年 ニッポン放送株買収<a>---

フジテレビ、ライブドアと和解

ニッポン放送株買収を巡って争ってきたフジテレビジョン(以下フジ)とライブドアは2005年4月18日午後、和解することで合意した¹。

もともとフジは、フジの大株主であるニッポン放送の株式に対して、TOB(株式公開買い付け)を発表していた。しかし2月8日に、ライブドアが東京証券取引所の時間外取引で、ニッポン放送株を大量取得したと発表し、以降マスメディアをにぎわす大騒動になっていた。

両社の合意内容は以下のようであった。

- ① フジ側はライブドアがグループで保有するニッポン放送株1,640万10株(発行済み株式の50.00003%)をすべて買い取り、ニッポン放送を子会社化する
- ② フジはライブドアが実施する第三者割当増資(発行済み株式の12.7%相当)を440億円で引き受ける
- ③ 放送とインターネットを融合する形での業務提携は、新設する提携委員会で具体的な中身をつめる

フジによる株式の買い取り価格は1株当たり6,300円となり、ライブドアの増資引き受けなどを合わせた支払総額は1,473億円となった。ライブドアの推定平均取得価格6,286円よりわずかに高く、フジのTOB価格5,950円を上回る。

和解により、フジは当初目的だったニッポン放送の子会社化を実現する。この結果ニッポン放送の上場廃止が確実になり、MAC アセットマネジメント(村上ファンド)など他の株主もフジ側への売却に応じる見込みである。フジが目指していたニッポン放送の100%子会社化がようやく実現する運びとなつた。

ライブドアが求めていた放送とインターネットを融合した業務提携については、両社が新設する業務提携推進委員会で具体的に内容を協議する。

¹日本経済新聞 2005.4.19、日経ビジネス 2005年4月25日・5月2日号などより